

令和2年3月30日

保護者様

千葉大学教育学部附属特別支援学校  
校長 細川 かつお

### 令和元年度学校評価アンケートの結果について

ご多忙にもかかわらず、令和元年度学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。  
学校評価の概要についてお知らせいたします。

本アンケート結果をホームページに公表するとともに、5月に行われる予定の附属学校学校  
評議員会での評価を踏まえたものを、再度、ご報告させていただきます。

※(A=そう思う)(B=まあまあそう思う)の合計数値を肯定的評価として、自己評価をして  
います。

#### I 情報発信・連携について

項目1～4までで、保護者・職員共全ての設問で90%以上の肯定的評価でした。項目1につ  
いては、一昨年度から、保護者への学校の教育目標や学校経営の重点目標の説明の機会を増や  
した結果、90%を維持できていることから、次年度も学校目標や学校運営の重点目標を説明する  
機会を確保し、これまで以上にいい説明を心がけていきます。項目4については、昨年度  
より保護者の肯定的評価が5%上がっていますが、D評価が、保護者、職員を合わせると6%あ  
ることは真摯に受け止め、これまで以上に保護者の声に耳を傾け、連携を図りながら、教育活動  
や学校運営を進めていきます。項目5については、保護者の肯定的評価が、昨年度よりも9%下  
がっており、今後も学校全体の課題として受け止め、取り組みを進めていきたいと思いを。

#### II 環境・安全について

項目6については、体育館、小学部棟、管理棟の改修工事が終わったこともあり、昨年度の70  
%台から80%台の評価となりました。項目8、9については、昨年に続き非常に高い肯定的評  
価となったことから、今後も継続していきたいと思いを。項目10については、保護者の肯定  
的評価としては、昨年度よりも4%下がっています。今年度は引き渡し訓練を行うなど、新たな  
取り組みも実施しましたが、学校における安全管理や危機管理は非常に重要なことであることか  
ら、今後も学校危機管理マニュアルの見直しや、PTAとの連携による災害時等への対応につ  
いて、見直しを含め、より適切な対応策を図っていきます。

#### III 年間計画・行事について

ほとんどの項目において、90%以上の肯定的評価となりました。特に項目11については、  
保護者の肯定的評価が昨年度より9%上がりました。ここ数年、年間計画については見直しを  
図りながら進めてきたことから、今後も児童生徒の実態に合った適切な内容を、主体性を大切に  
、「何を学ぶのか」をより明確にし、これまでの取り組むの良い部分は残しながら、さらなる内容  
の精選を進めていきます。

#### IV 教育活動について

保護者は5つの項目で、90%近い肯定的評価でした。項目16では、キャリア教育全体計画の実効性と卒業後を意識した教育実践を進めていく中で、肯定的評価が昨年度より7%上がったことから、今後も継続した取り組みを進めていきます。一方で、項目18については、保護者の肯定的評価が昨年度より4%下がったことから、次年度は、進路に関する研修会の実施方法については、積極的に見直しを図っていきます。項目17については、本校の教育課程の中心である授業内容について、平成28年度から比較すると保護者の肯定的評価は、最も高い数値となりました。今後も、本校の特色である各教科等を合わせた指導の取組が、研究を通して職員の理解、内容の深まり、広がりをもって進めていきます。さらに、項目21でも保護者の肯定的評価が昨年度より4%上がっていることから、今後もより質の高い教育実践を続けていくための努力を惜しまず進めていきます。項目22については、保護者の肯定的評価が昨年度より3%上がったものの、70%台と低い評価であることから、よりICT機器の活用をより意識しながら、個々にあった活用を行っていきます。

#### V 職員について

全ての項目で、保護者、職員ともに90%以上の肯定的評価でした。しかし、項目24、25の保護者の評価では、C評価、D評価が合わせて15%あることは、学校全体として真摯に受け止め、これまで以上に保護者の信頼や期待に応えられるよう、職員一人一人が初心に戻り、職務を進めていきます。

#### VI 児童・生徒について

職員は3項目とも肯定的評価が100%であり、児童生徒の良い面を評価しようとしていると同時に、学校生活を楽しいものにしようとした努力に自信を持っている様子がうかがえます。一方、保護者の評価では、各項目においてD評価があることは、真摯に受け止め、児童生徒の全体像、年間を通しての様子をしっかりと見取っていきます。今後も子ども主体の学校生活づくり、子どもたちがワクワクする授業を準備、実践していくことを一番に考えていきます。

今回のアンケートでは、本校に対する様々な思い、ご意見、ご要望など多数いただきました。学校として真摯に受け止め、今後も保護者の皆様のご協力をいただきながら、子どもたちのためによりよい教育実践を行って参ります。

令和元年度 学校評価アンケートのまとめ

- (1) 対象者：保護者（回収率78.8%） 教職員（100%）  
 (2) アンケート項目：保護者28項目 教職員32項目 ※1から28項目までは共通  
 以下、質問項目及び結果を示す。

【評価基準】 A=そう思う B=まあまあそう思う . . . . 肯定的評価  
 C=あまりそう思わない D=そう思わない . . . . 否定的評価  
 ※数値の単位：A～Dは% 無回答は人  
 （無回答を除外した数を母数として算出）

I 情報発信・連携

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	R1	H30
								肯定的評価	肯定的評価
1	保護者に、学校目標や学校運営の重点目標をわかりやすく伝えている。	保護者	46%	44%	5%	5%		90%	90%
		職員	42%	57%	1%	0%		99%	94%
2	保護者に、各種たよりや連絡帳等で、必要な情報や子どもの様子をわかりやすく伝えている。	保護者	63%	32%	0%	5%		95%	96%
		職員	70%	30%	0%	0%		100%	100%
3	ホームページや学校公開（土曜スクール、学校見学会、オープンスクール）、公開研究会等で学校のことを外部に発信している。	保護者	61%	34%	3%	2%		95%	94%
		職員	82%	17%	1%	0%		99%	97%
4	担任や学校は、保護者の声に耳を傾けて、連携を取りながら、教育活動や学校運営を行っている。	保護者	55%	40%	0%	5%	1人	95%	90%
		職員	70%	29%	0%	1%		99%	100%
5	学校は、大学、附属学校園との連携、交流及び共同学習を進めながら学校運営を行っている。	保護者	39%	41%	17%	3%		80%	89%
		職員	26%	47%	27%	0%		73%	85%

II 環境・安全

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	R1	H30
								肯定的評価	肯定的評価
6	学校内は、美化・整理整頓が行き届き、清潔感がある。	保護者	34%	54%	7%	5%		88%	78%
		職員	17%	65%	18%	0%		82%	79%
7	子どもが安心して学べるよう、安全な校内環境になっている。	保護者	37%	56%	5%	2%		93%	90%
		職員	33%	42%	21%	3%	1人	76%	82%
8	校内に掲示されているお子さんの作品や活動の様子は、分かりやすいものになっている。	保護者	54%	44%	0%	2%		98%	98%
		職員	60%	38%	2%	0%		98%	97%
9	子どものけがや病気が発生した時の対応は適切に行っている。	保護者	59%	37%	2%	2%		96%	96%
		職員	70%	30%	0%	0%		100%	100%
10	学校は、地震災害への対応や、事故を防ぐための対応など、安全管理や危機管理に努めている。	保護者	44%	44%	7%	5%		88%	92%
		職員	71%	17%	12%	0%		88%	91%

III 年間計画・行事

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	R1	H30
								肯定的評価	肯定的評価
11	年間の計画は教職員、子ども、家庭にとって無理のない、適切なものになっている。	保護者	63%	34%	3%	0%		97%	88%
		職員	26%	59%	9%	6%		85%	88%
12	魅力のある学校行事（運動会やふよう祭など）が実現されている。	保護者	54%	39%	5%	2%		93%	90%
		職員	42%	57%	1%	0%		99%	97%
13	入学式・卒業式など儀式行事は、趣旨に合った適切なものとなっている。	保護者	56%	39%	3%	2%		95%	96%
		職員	47%	53%	0%	0%		100%	97%
14	各学部の行事は、子どもたちの発達段階に応じた適切なものとなっている。	保護者	49%	46%	3%	2%		95%	92%
		職員	50%	50%	0%	0%		100%	100%

#### IV 教育活動

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	R1	H30
								肯定的評価	肯定的評価
15	教育活動は、子どもたちが自分から目当てと見通しをもって意欲的に取り組める内容となっている。	保護者	49%	49%	0%	2%		98%	94%
		職員	43%	57%	0%	0%		100%	97%
16	各学部の教育活動は、卒業後、自立し、働く活動を中心とした社会生活につながるような内容となっている。	保護者	41%	54%	5%	0%	2人	95%	88%
		職員	41%	59%	0%	0%		100%	100%
17	教育課程の中心となっている、遊び、日常生活の指導、生活単元学習や作業学習は、児童生徒の成長に十分効果を発揮している。	保護者	49%	46%	5%	0%		95%	92%
		職員	61%	39%	0%	0%		100%	94%
18	進路に関する情報の提供や研修会は十分に行われている。	保護者	61%	29%	7%	3%		90%	94%
		職員	60%	40%	0%	0%		100%	97%
19	遊び、生活単元学習、作業学習は、他の取り組み（例えば、自立活動や職業/家庭）と連携が図れている。	保護者	39%	49%	12%	0%		88%	88%
		職員	32%	57%	11%	0%		89%	100%
20	「社会に開かれた教育課程」のために地域資源の活用や地域貢献など地域との連携を進められている。	保護者	27%	54%	12%	7%		81%	
		職員	23%	59%	18%	0%		82%	
21	個別の教育計画（個別の指導計画、個別の教育支援計画、個別の移行支援計画）について保護者と十分話し合い、経過や結果について丁寧な説明をしている。	保護者	59%	37%	2%	2%		96%	92%
		職員	51%	47%	2%	0%		98%	94%
22	パソコンやタブレットなどのICT機器を活用した取り組みは、有効に行われている。	保護者	20%	50%	20%	10%	1人	70%	67%
		職員	23%	56%	21%	0%		79%	91%

※項目20につきましてR1より質問項目が変わったため、昨年度の数値はありません。

#### V 職員

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	R1	H30
								肯定的評価	肯定的評価
23	教職員は、熱意と情熱をもって教育活動にあたっている。	保護者	68%	27%	5%	0%		95%	96%
		職員	69%	31%	0%	0%		100%	100%
24	教職員は、子どもの気持ちを受け止めてきめ細かく対応している。	保護者	70%	25%	3%	2%	1人	95%	96%
		職員	75%	23%	2%	0%		98%	100%
25	教職員の言葉遣い・態度など、職業人としてのマナーは適切である。	保護者	66%	24%	3%	7%		90%	98%
		職員	54%	41%	3%	2%		95%	94%

#### VI 児童・生徒

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	R1	H30
								肯定的評価	肯定的評価
26	子どもは、「今日に満足し、明日を楽しみに待つ」学校生活を過ごせている。	保護者	76%	17%	5%	2%		93%	92%
		職員	57%	43%	0%	0%	1人	100%	100%
27	子どもが、自分からやろうとすること（自分でやりたいと思うこと）が増えてきている。	保護者	61%	34%	3%	2%		95%	86%
		職員	62%	38%	0%	0%		100%	100%
28	子どもに、挨拶や着替え、社会のルール、働くことの意義など自立するために必要な力が身に付いてきている。	保護者	59%	32%	7%	2%		91%	90%
		職員	47%	53%	0%	0%		100%	100%

#### VII 附属の役割

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	R1	H30
								肯定的評価	肯定的評価
29	研究校として、実践的研究を行い、有用な取り組みを外部に発信している。	職員	48%	49%	3%	0%		97	94
30	県内や地域における特別支援教育の推進に努めている。	職員	40%	48%	12%	0%		88	72
31	大学や教育学部と連携が図られ、お互いに必要な関係となっている。	職員	24%	58%	18%	0%		82	75
32	教育実習生に必要なかつ適切な指導を行い、有為な教員養成を行っている。	職員	38%	61%	1%	0%		99	100